

2月の行事案内

- ・ 2月2日(日)～3月1日(日) 9:00～17:00
企画展 ～山本幹雄の竹細工展～
- ・ 2月9日(日) 10:00～12:00
バードウォッチング入門① ～冬の小鳥を観察しよう～
- ・ 2月16日(日) 9:30～12:00
子どもレンジャークラブ① ※会員制のため、会員以外の参加はできません

※ 特別記載のない行事は、開始30分前から開始時間までに集合・受付を済ませてください。
※ 参加料は無料ですが、ビジターセンター入館料200円が必要です(18歳以下無料)。
※ 双眼鏡は公園で無料貸出しを行っています。

★★ 土曜・日曜・祝日のイベント案内 ★★

★ バードウォッチング (11:00～12:00)

レンジャーと一緒に公園内を歩いて鳥などの生き物を探します。
(雨天・荒天時や行事と重なる場合は中止します)

★ 楽しい工作教室 (14:00～15:00)

自然の素材などを使って色々な工作を作ります。
1月のメニューは「干支(子)の置物」です。



工作「干支(子)の置物」

★ 楽しい紙芝居 (15:00～15:30)

きらら浜の生きものが主人公の楽しいお話です。
クイズもあるよ!

★ ビデオ上映 (15:30～16:00)

公園内で観察できる鳥たちの様子や、四季折々の野鳥ビデオを上映します。

★お知らせコーナー★

- ラジオ放送 KRY山口放送(5週おき9:40頃)で、公園の様子をお伝えします。次回は1月18日(土)です。
- 新聞掲載 毎月第一土曜日にサンデー山口「野鳥手帖」で季節の野鳥について連載中です。

*** きらら浜自然観察公園 NPO法人野鳥やまぐち ***

- 住所 〒754-1277 山口県山口市阿知須 509-53 ● TEL 0836-66-2030 ● FAX 0836-66-2031
- ホームページ <http://kirara-h.com/> ● フェイスブック <https://www.facebook.com/kirarahama>
- Eメール kirara-m@gaea.ocn.ne.jp ● 休園日 毎週月曜日(休日の場合は翌日)・年末年始(12/28～1/4)
- 開園時間 午前9時～午後5時 ● ビジターセンター入館料 200円(18才以下無料。20名以上の団体は1名160円)

きらら浜自然観察公園だより

2020年 1月号 No.225



←チュウヒ



オオタカ→

1月の見どころは
タカのなかま



園内で一番鳥の種類が多く見られるのは冬です。カモのなかまや小鳥など様々な鳥が園内で冬をすごすためにやってきて、その鳥たちをエサにしているタカのなかまもよく見られます。

トビやミサゴは一年中見ることができ、冬になるとオオタカやハイタカ、チュウヒやノスリなど、観察できる種類もふえます。園内の木にとまって休んでいるすがたを見ることがありますが、ヨシ原や干潟の鳥をおそうようすもたびたび見られます。

園内の鳥たちがとつぜん一斉に飛び立ったら、まわりを観察してみてください。鳥をエサにしているタカのなかまが見られるかもしれません。

1月の行事

冬休みも工作教室!

12月25日(水)～1月7日(火)

14:00～15:00 (14:00開始)

冬休みの間の開園日は、毎日工作教室を行います。メニューは12月25日、26日、27日がミニ門松、1月5日、7日が干支の工作です。遅れての参加はできません。



※ 19歳以上の方は入館料200円が必要です。

※ 12月28日～1月4日、6日は休園日で、2日と3日は臨時開園します。



1月の行事案内



12日(日) 10:00~12:00
バードウォッチング入門⑩
~猛禽類を観察しよう~

エサとなる鳥たちを狙って飛来するタカの仲間を観察します。雨天時は室内からの観察となります。

子どもレンジャークラブ⑩~冬ごもりをする生き物をしらべよう~は、1月19日(日) 9:30~12:00です。ただし、会員制のため会員以外の参加はできません。

- ※ 特別記載のない行事は、開始30分前から開始時間までに集合・受付を済ませてください。
- ※ 参加料は無料ですが、ビジターセンター入館料200円が必要です(18歳以下無料)。
- ※ 双眼鏡は公園で無料貸出しを行っています。

どんな行事だった?

バードウォッチング入門⑧

11月10日(日)のバードウォッチング入門では、オオジュリンとツリスガウを探す為にヨシ原を観察しました。途中ハイロチュウヒのメスが何度も出現し、警戒したオオジュリンたちが鳴きながら飛び交う姿を見ることができました。



子どもレンジャークラブ⑧

11月17日(日)は子どもレンジャークラブの活動日でした。今回のテーマは木の実だったので、園内にある木の実を観察して採取し、中身を割ってみました。色や大きさは様々で、鳥たちに種を運んでもらう為に工夫されていることが分かりました。



レンジャーからの挑戦状!

公園の生き物についてのクイズです。全問正解すれば、キミもレンジャーになれるかも。さあ、何問わかるかな?

- 寒くなるとカモメのなかまが渡って来ます。水にうかんでいるすがたをよく見ますが、カモメのあしはどうなっているでしょう?
 - ① サギのように、氷かきはない
 - ② カモのように、ゆびの間に氷かきがある
 - ③ カイツブリのように、ゆび1本ずつに氷かきがある
- この時期のハマヒサカキは、花がさいているものと、実がついているものがありますが、それはなぜでしょう?
 - ① 花がさいて実がつくまでに1年かかるから
 - ② 花がさく木と実がなる木がちがうから
 - ③ 今年はあたたかかったため、たまたま花がさいただけ

こたえはウラにあるよ

レンジャー絵日記



今日は公園行事「野鳥撮影入門」
十一月一日(日) 晴れ
がありました。野外で野鳥をさがしている、樹林に冬鳥のキウイタダキが見られました。キウイタダキは全長10cmほどの日本で一番小さな鳥で、動きが速く、なかなかじつくりとかならずしりませんが、参加者はすばやく動く様子を楽しくそとにカメラで追いかけていました。

きらら浜の自然情報



干潟のカニは、冬になると見られなくなるものが多いのですが、ヤマトオサガニは寒い時期でも活発に動いています。体のはばが4cmくらいのカニで、目が長くつき出ている、オスは白色のハサミが目立つのがとくちょうです。干潟が出ている時はどろの上でたくさん見られ、ビジターセンター内のスコープでもかんさつできます。様々な野鳥のエサにもなっているので、注目してみてください。

冬鳥のウミアイサが見られるようになりました。ウミアイサはオスもメスもボサボサとした頭がとくちょうのカモのなかまです。エサは魚で、水の中にもぐり、くちばしでつかまえます。名前のとおり主に海で見られる鳥で、園内では汽水池や干潟で見られるので、エサとりの様子をじっくりとかんさつしてみましょう。



きらら浜の野鳥図鑑93 ヒヨドリ 全長28センチ

一年中見られる留鳥ですが、冬になると北日本から渡ってくるものもいるため、数が多くなります。ほおの赤茶色がとくちょうで、「ヒーヨ、ヒーヨ」と鳴くことから名前がつけられています。主に林で生活する鳥ですが、庭先や公園などの身近な場所でも見られ、園内でもよく見られます。

